



SNS、テレワーク時代の社内コミュニケーションを促進する

「映像社内報」導入のご提案



infinity vision

映像社内報の メリット

テレワークが推進されていることで映像を活用する企業は増えています。
映像は遠隔でも多くの情報を伝えられるので、社内報で映像を活用するメリットは多くあります。
その中でも特に強調したいのは以下の3点です。

- ① プロモーション等のイベント情報をリアルに伝えられる
- ② 各部署が発信したい施策をわかりやすく紹介する
- ③ 部署の業務内容の紹介、部員の仕事ぶりを身近に伝える

▶ 映像は情報をより身近に感じる

情報の受け手にとってもメールなどの文字情報を読むより、映像の方が観てもらえるのではないのでしょうか。文字を読み進めることよりも、映像を再生する1クリックの方が心理的なハードルは低いはずです。また、Youtubeなどの映像媒体の普及により、映像で伝えることが当たり前となっています。ネットに普段から接している若い世代にとっては、映像を活用した社内コミュニケーションの方が親近感を得ることが期待できます。

社内報は紙媒体から映像へ。

弊社では、社内コミュニケーションの促進ツールとしての「映像社内報」にも実績とノウハウがございます。企業が社内に伝えたいこと。イベントやプロモーションの様子や部署紹介、社員の素顔などを映像化することで情報が手軽に伝わります。

映像制作を専門とする弊社がご提案させていただきます。

様々なシーンをわかりやすく伝えます



プロモーション等のイベント紹介

社外に向けた**イベントや記者会見等の様子を撮影**し、ナレーションを付けて映像にまとめます。これにより**日常どのような広報活動が行われているのか**を社員の方々が把握することができます。もちろんマスコミ陣や会場の様子なども収録し**イベントの盛況度も報告**できます。さらに御社**担当者がレポーターやコメンテーターとしてご出演**していただくことにより、施策意図や目的をより効果的に解説することが出来、見る側は深く内容を理解することが出来ます。また撮影した**映像は資料としても有効活用**できます。映像データをアーカイブとして活用すれば、静止画や文面だけでは得られない情報がPCやスマホを使って手軽に引き出すことも可能となります。



各部署での施策紹介

各部署が社内へ発信したい施策の紹介です。
他部署が行っている業務は**意外と知られていないことが多く**業務内容の共有だけでも効果は期待できますが、社内報という場を社員へ提供することで士気の向上へも役立ちます。**部署毎に掲載枠を割り当て**ておき、掲載内容は部署の裁量とします。
コンテンツ自体も部署の方が**スマホなどを使って撮影した動画や静止画**を使うことで担当者の能動的な発信にすることも可能です。



部署、部員の紹介

部署は知っているが**どのような業務**を行っているのか？顔は知っているが**会話をしたことが無い**けれどどんな方？などのケースが多々あるかと思えます。そこで**部長さん自ら**部署の役割や部員の紹介を行っていただき、部員のみなさんには自己紹介などをさせていただきます。**写真と名簿だけでは記憶に残りにくい**ですが、映像にすることで普段の部署の様子や部員の仕事を印象的に伝えることが出来ます。映像で見ていたことにより、異動や転勤で配属される際にも**心理的な負担は軽減**されることが期待できます。



弊社での社内報制作事例



ご依頼主	大手金融会社 A社
ご担当部署	広報部・総務部
期間	2012年から8年間 現在も継続中
頻度	毎月1回
映像尺	約10分／本
制作期間	約3週間／本

最初は社長様の悩みがきっかけ

70を超える部署を擁し、4000名を超える社員が働く大手金融会社のA社。
国内はもちろん、海外にも支店がありその業務は広範囲にわたります。

当時の社長様が抱えていた悩みは2つ。

社内なのに
他部署との連携が
とれていない

新商品の仕様や
プロモーション戦略の
共有が行き届いて
いない



そこで社長様自らが率先して
映像で社内報を配信することになりました。

早速、社員へ向けての社長様からのメッセージ映像を配布しましたが、当初社内での反響は薄く思うような効果は上がりませんでした。 **どうしたら社員に観てもらえるのか？**

そこからトライアンドエラーを重ね改善していくことで次第に反響が現れ、今では国内外の支店でも広く活用され様々な効果が得られるようになりました。

最初の配信から8年間、今もなお継続されております。

観てもらえる映像社内報のノウハウ

8年間のトライアンドエラーを積み重ね蓄積された
弊社の映像社内報の**ノウハウ**をご紹介します。

部署毎に視聴時間をつくってもらう

映像を社員へ渡しただけでは観てもらえません。部署単位での協力体制が必要です。**みなさん同時に観る時間**を作っていただきます。

どの部署、世代でも視聴可能な媒体で配布

利便性から社内ネットワークでの配信も選択肢の1つですが、それよりは全ての部署、世代が見られる媒体ということであえて**DVDでの配布**もあります。

部署の裁量により、くだけた内容もときには取り上げる

社長メッセージの反響から学んだ教訓です。トップダウンや固い内容より、時には**特技の披露**などボトムアップでくだけた**親しみやすいもの**を取り上げることで、若い社員に共感してもらえます。

映像は10分間以内に

情報共有したい事柄を盛り込みがちですが、**映像として見やすいこと**を優先するべきです。

専門用語をできるだけ分かりやすく

部署が異なると**専門用語**は意外と通じないものです。誰が観ても分かるように内容をかみ砕くことが必要です。



映像社内報から得られた社内での効果

社内報を映像化することで、業務理解や効率の**アップ**、
社員のコミュニケーションやモチベーション**アップ**につながりました。

営業をより戦略的に 行えるように

プロモーション戦略や施策が**個人レベルで共有**
できるので効率的な営業に繋がりました。

異動先の部署での スムーズな業務引き継ぎ

他部署の業務やメンバーを事前に映像で知るこ
とで異動や転勤の**心理的負担が軽減**します。

他部署と共同調達による 原価の圧縮

他部署の仕入れ先は**意外と知らない**ことが多い
です。部署間の連携を深めることで仕入れ先を
まとめ、**原価を抑える**ことが出来ました。

過去に実施した イベントや施策などの アーカイブ化

前回の内容を踏襲して、ということは良くありま
すが、**文字や数字だけでは把握できない**こともあ
ります。映像として残すことでその様なことも
容易に確認できます。

業務内容が広く 知られることでの 社員の士気向上

社内報に掲載されれば**全社員の目**に触れます。業
務の結果が社内に広く知られることで 社員の士
気の向上に繋がりました。

部署を跨いだ コミュニケーションの活性化

互いの業務を知ること、部署を跨いだ**日々のコ
ミュニケーション**が活性化しました。

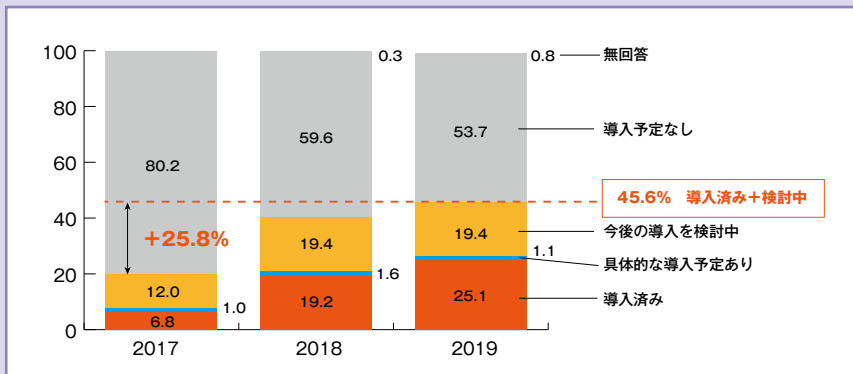


テレワークにスムーズに対応できます

緊急事態宣言発令後、**テレワーク**が推進されています。
遠隔地での社内コミュニケーションに戸惑う企業が多いなか、
A社は映像での**情報共有のノウハウ**があるために
スムーズに対応出来ています。



従業員30人以上企業におけるテレワーク導入状況の推移



テレワークを導入済み、または検討中を合計した割合がこの2年間で**25.8%上昇**。
「多様な働き方に関する実態調査(テレワーク)結果報告書」より令和2年3月 東京都産業労働局



「緊急事態宣言」発令後、**テレワーク導入の動きはより加速**することに。

お打合せから納品までの流れ

ご担当部署を中心に弊社とお打合せからスタートになります。
御社のご希望スパンで対応可能です。



エンタメ系から企業もの、実写、アニメと 幅広く手掛ける映像プロダクション

ホームページもしくはお電話でお気軽にお問い合わせください。
スタッフ一同お待ちしております。

会社名	株式会社インフィニティビジョン
住所	東京都千代田区飯田橋1-8-10クリエイトビル2F
会社設立	2012年11月12日
URL	http://infini.main.jp/
事業内容	テレビコマーシャル・企画制作 プロモーション映像・企画制作 3Dアニメーション／2Dアニメーション・企画制作 企業VP・企業社内報・企画制作 ポスターパンフレット・企画制作 LIVEコンサート・撮影編集制作 CG制作業務 スチール撮影業務 キャスティング業務



infinity vision